

東京学芸大学附属国際中等教育学校 第7回 公開研究会

本日は、研究協議会にご参加いただきましてありがとうございます。

開始時間まで、いましばらくお待ちください。

13:00～ 全体会

13:20～ 3年共通授業協議会

<お願い>

Zoomに表示される名前を

「氏名@所属」にしてください。



今年度の研究主題

知の統合を生み出す探究的な学び

－国際バカロレアの教育システムを活かした教育実践－

国際バカロレアの教育システム



多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成

+

学習指導要領の改訂に伴う カリキュラム・マネジメントの実現



各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校目標を踏まえた教科横断的な視点でその目標達成に必要な教育内容を組織的に配列

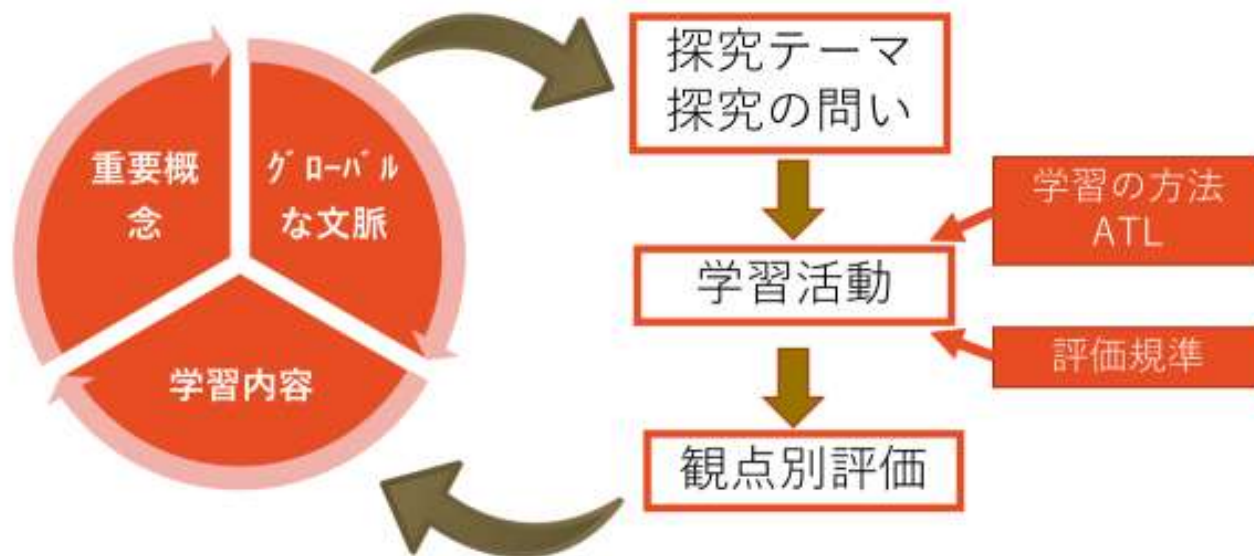


IBの趣旨に基づくカリキュラム・マネジメント

IBの趣旨に基づくカリキュラム・マネジメント

すべての教科科目で，共通の単元設計のイメージを持つこと

MYPIにおける「単元設計」のイメージ



IBの趣旨に基づくカリキュラム・マネジメント

すべての教科科目で，共通の単元設計のイメージを持つこと



共通の
キーワード

ATL(学習の方法)	重要概念	グローバルな文脈
<ul style="list-style-type: none">・コミュニケーション<ul style="list-style-type: none">□コミュニケーションスキル・社会性<ul style="list-style-type: none">□協働スキル・自己管理<ul style="list-style-type: none">□整理整頓する力□情動スキル□振り返りスキル・リサーチ<ul style="list-style-type: none">□情報リテラシースキル□メディアリテラシースキル・思考<ul style="list-style-type: none">□批判的思考スキル□創造的思考スキル□転移スキル	<ul style="list-style-type: none">□美しさ □変化□コミュニケーション□コミュニティ □つながり□創造性 □文化□発展 □形式□グローバルな相互作用□アイデンティティ□論理 □ものの見方□関係性 □システム□時間・場所・空間	<ul style="list-style-type: none">□アイデンティティと関係性□空間的・時間的位置づけ□個人的表現と文化的表現□科学技術の革新□グローバル化と持続可能性□公平性と発展

これまでの校内研究における課題

本校の育てたい生徒像

- (1) 現代的は課題を読み解く力を持った生徒
- (2) 知識とイメージを自分で再構築する力を持った生徒
- (3) 対話を通して人との関係を創り出す力を持った生徒
- (4) 異文化への寛容性・耐性を持った生徒



課題として…

- めざすのは「学習の転移」
→生徒の中で、学びがつながり、知の統合化がおこるか？
- 中等教育段階として、
→資質能力の共通性や固有性をどのように重視していくべきか？

今年度の校内研究の方針

個別の厳密性より大枠主義

→共通の単元設計，研究グループ制度の継続

カリキュラム評価の実施

→学校目標に対する成果検証，総合的な分析

校内研究の方法①

研究グループ制度の導入



研究グループの構成

同一学年の授業をもつ教員
6~8名程度
教科や経験のバランス

研究グループとして行うこと

互いの授業見学
研究課題を設定した授業研究

- ・ Lesson Planの作成
- ・ 研究授業および協議会の実施
- ・ 研究紀要の執筆

校内研究の方法①

研究グループによる公開授業

【共通授業】 中学3年

国語・社会・数学・理科・外国語・技術

私たちは何によって
未知の複雑な事象を知り得るのか
～語りの再構築からとらえる<関係性>～

中学2年

数学・理科

IDUの枠組みで構成する教科横断的な授業
～重要概念「Logic」に焦点を当てて～

高校3年 DP

TOK・EnglishA,B・歴史・Visual arts

問いを立てる，対話で深める
～多角的な視点の獲得～

高校3年

数学・国際協力と社会貢献・現代文・古典B

知の統合が拓く「育てたい生徒像」の実現

校内研究の方法②

SSH指定による研究開発



研究開発課題名

「学びの本質」を捉え、SOCIAL CHANGEをもたらす科学技術人材の育成

要素 1	実社会の状況を取り組んだ 探究的な学びを実現する授業設計
要素 2	生徒課題研究および理数探究活動 研究スキルの育成につながるシステム 構築と評価方法の確立
要素 3	生徒の主体的な研究活動によって 生み出されるSOCIAL CHANGEの視点

公開授業

SS化学基礎 高校2年

環境問題は定量できるか？

生徒課題研究発表